

情報通信技術を活用した、検針等用車両による燃料消費量削減(E009)

【プロジェクト概要】

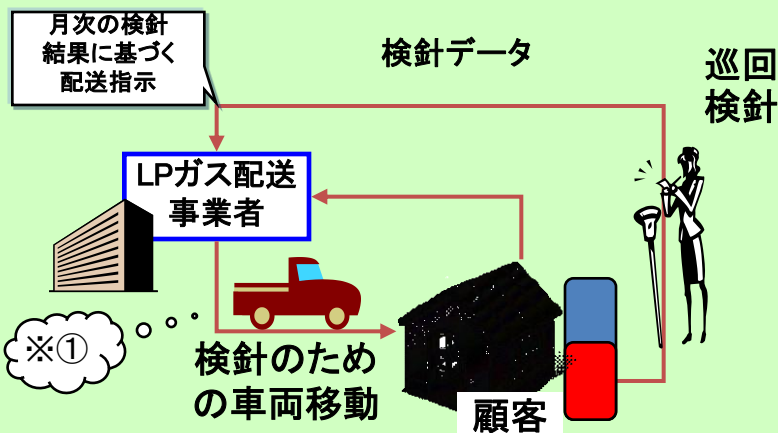
情報通信技術(ICT)を活用し、検針等用車両による燃料消費量を削減する。

【プロジェクトの適格性基準】

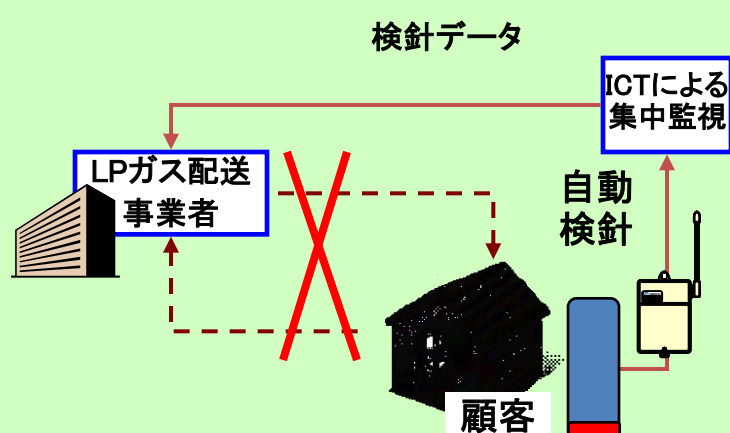
- 条件1. 削減される燃料が、化石燃料であること
- 条件2. 情報通信技術(ICT)を活用し、これまで行なっていた巡回検針等の業務を省略し、移動のための化石燃料が削減されること
- 条件3. 検針等を行っていた場所が特定できること
- 条件4. 検針等用車両が、特定可能であること
- 条件5. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと。例えば、投資回収年数が3年以上であること

排出削減量の算定で考慮する範囲(ガス使用量検針の例)

<従来通りの車両による巡回検針>



<ICTを活用した遠隔検針>



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

①従来のガス消費量の巡回検針用車両による排出

(燃料法による算定の場合: 自動車の年間燃料消費量、化石燃料の単位発熱量)

(燃費法による算定の場合: 年間輸送距離、輸送車両の燃費効率、化石燃料の単位発熱量)

②ICT設備の稼働のための電力消費に伴う排出

(電力消費量、稼働時間、定格電力)